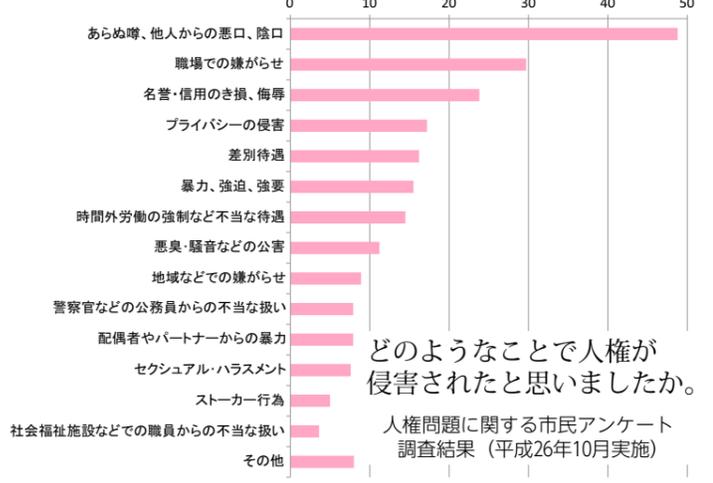


人権 って何だろう



人権は、人種や民族、性別を超えて、誰にでも認められる基本的な権利であり、私たちが幸せに生きるためのものです。しかし、現在も人権をめぐるさまざまな問題が生じています。



【知ってください、デートDV】

DV（親密な関係にある男女間の暴力）には、いろいろな問題がありますが、恋人間でおこるDVをデートDVと呼びます。DVは重大な人権侵害です。

デートDVはこんなにたくさん

- 殴る・蹴る・物を投げつける
- 怒鳴る・暴言を吐く
- 「別れるなら〇〇する」と脅す
- メールや着信をチェックする
- メールをすぐ返さないと怒る
- 友達と遊ぶなと言う・束縛する
- 友達のメールアドレスや電話番号を勝手に消去する
- デート費用をいつも払わせる・お金を返さない など

デートDVを受けているのかも、と思うあなたへ

あなたの気持ちは大切にされていますか。恋人だからといって、相手の言いなりになって、心が楽しいでしょうか。嫌だなど思うときは、嫌だと言っていいです。一人で悩まず、まずは友人や周囲に相談してください。

デートDVをしているのかも、と思うあなたへ

「恋人だから許される」という思い込みが、彼女や彼を苦しめていませんか。束縛することが愛情ではありません。彼女や彼は、ものじゃない。どんなことがあっても、暴力は言語道断です。

なんとなく友だちの様子が変わったと思ったら

勇気を出し声を掛けて、話に耳を傾けてください。そばにいる友だちの言葉で、その人が今まで気付かなかったことに気付くこともあります。そして、「大丈夫、あなたは悪くない」と言ってあげてください。「それは、愛されている証拠」とは言わないでください。信用できる人への相談を勧めてあげてください。



相手を思っ
ていい恋しよう

交際相手からの暴力が、
傷害事件につながることも
あります。
暴力を受けた心の傷を癒すには
長い時間がかかります。
暴力は重大な人権侵害であり、
許されるものではありません。

【知ることから始める】

同 同問題はもうなくなったのでしょうか。

廿日市市が平成26年度に市民を対象に実施した「人権問題に関する市民アンケート」の中で、「同和問題に関する人権上の問題」に何があると思うか尋ねています。

「結婚問題で周囲の反対を受けること」を挙げた人が一番多く51.2%でした。

同和問題は、日本の歴史の中で、支配者が民衆を支配するために政治的に作り出したものです。人権意識が高まっている現代で差別を受けることはあってはいけないことです。

国の特別措置法により生活環境など、目に見えることは大きく改善されました。また、啓発活動により、差別はいけないという認識は広がっています。しかし、結婚における差別、差別発言、インターネットでの心ない書き込みなどは依然として残ったままです。

同和問題の歴史的背景を知り、正しい認識を持って同和問題解決に取り組むことが大切です。



大切なことは、その人の生まれや育ちがどこかではありません。

【より良い配慮のために】

講 演会で、手話通訳や要約筆記がつかうことがあります。

点字ブロックがある道路や、エレベーターが整備された駅も増えました。これらの配慮によって、障がいがあっても外に出て、一緒に活動しやすくなりました。

個人でできる配慮もあります。例えば、耳の不自由な人には、紙に書いて伝え合うことができます。言葉だけでは理解しづらい人には、写真や絵に簡単な文字を添えると、伝わりやすくなることもあるそうです。

「どんなことが難しく、どんなことが得意なのか」。一人一人の状態に合わせて合わせる大切が大切です。

学校や地域、職場で、どのような工夫をしたら、障がいのある人と一緒に活動できるのか、知恵を出し合ってみませんか？「してほしいこと」と「できること」をつなぐために、障がいのある人やその周りの人と対話をして、できることから始めましょう。障がいのある人にやさしいまちは、誰にとってもやさしい、住みやすいまちになるでしょう。



路上駐車・駐輪などは目の不自由な人、障がいのある人の通行の妨げになります。

【老後のコミュニケーション】

高 高齢社会を通り越し、今や超高齢社会と言われる段階になりました。医療不足や社会保障費の問題など、考えるべき事は山積みです。長い老後をどのように過ごすかを、一人一人考えなくてはなりません。元気で活動できる期間は人によって違います。子育てや長い会社勤めなどを終え、気が付けば社会との接点を失っていたということにもなりかねません。

介護予防教室やウオーキング会などが開催され、より豊かな時間の過ごし方が提案されています。元気なつもりでも事故や病気は不意に訪れます。特に一人暮らしの人は、本人にも遠方の家族にも不安材料となります。そんな時、安否確認をしてくれる人が近くにいると安心です。

老後はコミュニケーション力を問われるときです。地域の活動に参加することで気に掛けてくれる人と巡り合えます。元気に歩いている姿を見ると近くに住む人も安心します。小さな気遣い一つで豊かな高齢社会を作りましょう。

老後はコミュニケーション力を問われるときです。地域の活動に参加することで気に掛けてくれる人と巡り合えます。元気に歩いている姿を見ると近くに住む人も安心します。小さな気遣い一つで豊かな高齢社会を作りましょう。



浅原地区で行われる「ふれあい本郷」。地域の集まりや教室にぜひ参加してみてください。